

教科	工業	科目名	インテリア装備	単位数	2
学科	インテリア	学年	3 学年	履修区分	必修
使用教科書	インテリア装備(東京電機大学出版局)				
副教材など					

1. 科目の目的

- 1) インテリアを構成する各部位やエレメントの材料、構造、施工にかかわる基礎的な知識と技術を総合的に習得させ、実際に活用する能力と態度の育成を目的とする。
- 2) 具体的目標として、高等学校で学ぶ専門科目の分野に関する基礎知識を学び、国家試験・検定試験等の資格試験のための基礎学力の確立を目指す。関連する資格の主なものとして下記に示す。
 - (1) インテリアコーディネーター
 - (2) 住福祉環境コーディネーター2・3級
 - (3) CAD検定
 - (4) インテリア設計士2級
 - (5) インテリアコーディネーター

2. 授業の内容と進め方

講義のみの授業にならないように、教科書を理解させるだけでなく、インテリア計画・実習・製図科目等と連携をとりながら、現場見学も取り入れ各種資格試験の取得にもつながる知識を習得させる。

3. 学習する上での留意点

インテリア装備の基礎的な知識だけでなく、装備を通してインテリア計画・設計製図・生産技術等ができるように関連づける。個々の理解度把握し個別指導を徹底する。

4. 課題等について

- 1) 問題プリントを配布、解答し、提出する。
- 2) 各単元において、小テストを行い、そこまでの内容理解度のチェックをする。理解がされていれば合格とし、理解不足の場合は補習、再テストを受け合格するまで繰り返す。提示した課題を提出期限までに提出させる。

5. 成績評価規準(評価の観点及び趣旨)

評価の観点	評価規準
関心・意欲・態度	インテリア装備の基礎的・基本的な内容を理解し、意欲的に授業に参加し、質問・発表等をする態度を身に付ける。
思考・判断・表現	インテリア装備の基礎的・基本的な知識で具体的な事象に対して深く考えるとともに、各構造・材料について内容を適切に理解できる能力を身に付ける。
技能	インテリア装備の基礎的・基本的知識を活用し、設計製図、模型製作等実践的に具現化できる能力を身に付ける。
知識・理解	インテリア装備の基礎的・基本的学習内容を理解し、各種構造・各種材料・各種仕上げ等に関する基礎・基本的な知識と技術を身に付け、インテリアの内容や、建築の内容を理解し活用・表現できるようにする。

6. 評価の方法

評価については、定期考査・校内実力テストでの成績や課題の提出状況を平常点として加えて、総合的に判断する。

- 1) 定期考査(授業計画にある通り1年間に4回実施される)。定期考査の結果をもとに学習の内容の理解度、定着度を理解する。
- 2) 校内実力テスト(定期考査を補完する意味で、長期休業明けに校内実力テストが行われる)
- 3) 授業への取り組み(発表・学習活動への意欲・出席状況)。学習意欲、学習態度、学習に取り組む姿勢を評価する。
- 4) 授業時のノートを提出させ整理の状況を評価する。
- 5) 現場見学のレポートを提出させ学習内容を評価する。

学期	月	学習内容 (単元・考査等)	学習のねらい	評価方法等
一 学 期	4	第5章 構造の力学	<p>構造物の設計においては、外から作用する力に対して構造物が安全であり、経済性の高いものであることが必要である。そのためには、構造物の構成や形状、これらに作用する力の性状、さらに使用材料の性質などを考え合わせて、合理的に設計することが必要である。</p> <p>この章では、実際の構造物を合理的に設計するうえで必要な基礎的な事柄について学ぶ。</p> <p>現在の住宅における設備機器の重要性を理解しインテリア装備を計画し施工するために必要となる給排水・衛生設備、空気調和設備及びその他の設備についての取扱方法や基礎的な知識と技術を習得させる。</p>	<p>行動観察 模擬テスト</p> <p>中間考査 課題提出</p> <p>期末考査 ノート検査</p>
	5	第1節 構造物と力 第1 構造物 第2 荷重 第3 反力 第4 部材の応力 第2節 部材の断面積 第1 材料の性質 第2 断面の性質 学習課題		
	6	第6章 建築設備		
	7	第1節 建築設備の概要 第1 建築設備とエネルギー 第2 建築設備の種類 第3 建築設備と建築物との関連		
	9	第4 自然エネルギーの利用		
	10	第2節 各種の設備と設備機器 第1 給排水・衛生設備 第2 空気調和設備 第3 電気設備 第4 その他の設備 学習課題		
	11	第7章 関連法規		
二 学 期	12	第1節 安全な居住環境 第2節 建築基準法 学習課題	<p>室内空間を快適で、使いやすく、安全性の高い環境に維持するために必要となる、いろいろな建築設備について学習する。</p> <p>現在では、生活の多様化とともに、室内空間に対する環境条件の要求が高度化しており、それに伴う設備技術も発展している。</p> <p>ここでは、設備の知識だけではなく、インテリアと設備の相互の関連などについても配慮する。</p> <p>法を通しての安全な住環境について考える。「法の遵守」と理解を深める。</p>	<p>中間考査 課題提出</p> <p>行動観察</p> <p>模擬テスト 期末考査 ノート検査</p>
	1	第1 法の構成と種類 第2 用語の定義 第3 一般計画に関する規定 第4 空間環境・衛生に関する規定 第5 防火に関する規定 ま と め	<p>生活空間の安全の確保や、快適さの保持を目的として定めた規定が、インテリアに関する法規の主要なものであることを理解し、建築基準法や消防法については、特に知識を深めさせる。</p>	<p>学年末考査 ノート検査</p>
	2			
三 学 期	3			